**〇〇市町村長　　　　　　　　様**

**〇〇市町村教育委員会教育長　 　　　様**

**有害物質が埋まる万博へ子どもたちを行かせないでください！**

**署名開始日：２０２4年〇月　〇日**

　吉村大阪府知事は2023年8月30日、府内在住の4～18歳を無料で万博に招待すると発表しました。2回目以降を市町村で検討してほしいと述べました。

**（府招待に加えて、2回目を計画しているなど各市町村の状況があれば記載する）**

しかし、2024年1月1日に能登半島地震が起こり、資材や労働力不足のなか、「万博を中止し災害復興に注力すべき」との声が高まっています。

また、3月28日、万博トイレの工事中に地中から発生したメタンガスに引火し、１００㎡にも及ぶ爆発事故が起こりました。地下へ降りる鉄製扉がひん曲がり天井には穴があくほどの強烈な事故で、人的被害がなかったのは奇跡的だったのではないでしょうか。しかも、メタンガスばかりかその他可燃性ガスが基準値を何度も超えていることが明らかになりました。この地で集客施設をつくることは無謀としか言いようがありません。

液状化などの被害状況も明らかになるにつれ、万博開催地の夢洲は災害が起きやすい場所であり、災害対策が不十分なことが、よりはっきりしてきました。

　以下に述べるように、万博開催地の夢洲は集客施設をつくってはいけない場所であり、子どもたちを行かせることに強く反対します。

**＜有害物質が埋まる夢洲＞**

夢洲はごみの最終処分場として作られた人工島です。有害物質を含む川底の泥や建設残土、産業廃棄物、東日本大震災の原発事故の焼却灰（セシウム）などが埋まっています。子どもたちがバスで来場する**駐車場は、有害物質PCBの袋1万袋**の上を土で覆い、コンクリートで固めてつくる計画です。そこに子どもたちは降り立ち、**ガス抜きパイプの出ているメガソーラーの横を通って**パビリオンエリアへ行き、**爆発事故があったグリーンエリアで休憩をとる**ことになります。子どもたちの健康被害が心配です。

**＜災害対策が不十分＞**

万博の開催期間は、梅雨や台風による自然災害の多い時期です。夢洲は大阪湾上に位置し災害を受けやすい地理的条件です。南海トラフ地震など大きな地震が来れば、津波や液状化などによる甚大な被害が予想されます。

一日あたり約15万人の入場者が見込まれていますが、夢洲には避難路が2ルート（橋とトンネル）しかありません。今まで橋は強風で、トンネルは冠水で通行不能になっています。橋やトンネルが使えないと**生活物資が途絶える文字通りの孤島**になってしまいます。

**◆子どもたちの命と健康を守るために以下を要請します。**

**１．有害物質による健康被害の危険性がある夢洲・万博に子どもたちを行かせないでください。**

**２．自然災害の危険性が高い夢洲・万博に子どもたちを行かせないでください。**

**３．自然災害が起きたときに避難が不可能な夢洲・万博に子どもたちを行かせないでください。**

|  |  |
| --- | --- |
| **名　前** | **住　所** |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**＜署名の送り先＞**

**〒○○○―○○○〇　　住所**

**名前　または　取り扱い団体名**

**連絡先　メール（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　　　電話（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）**